



夏季休業終了，授業再開

夏季休業が終了し，9月1日より授業が再開されました。今年の夏の話題と言えば，何ととってもリオデジャネイロオリンピック。誰もがテレビの画面に釘付けになり，日本人選手の大活躍に日本中が湧きました。日本人がメダルを取った映像は何度見ても飽きません。見ている人を明るい気持ちにさせ希望を与え，あきらめない心を持つ大切さを教えてくれるからです。高萩高校では，夏季休業中に中学生体験学習が実施されました。暑い中参加していただいた中学生の皆さんと，引率された先生方に改めてお礼申し上げます。

■中学生体験学習 8月2日(火)

今年度は，県北地区の中学校から103名の参加申込みがあり，当日中学生は本校で様々な体験をして有意義な半日を過ごしました。まず体育館で開講式を行い，生徒会役員の学校紹介や吹奏楽部の演奏会を見学しました。その後場所を教室に移し，事前希望によりグループに分かれ高校の授業を体験しました。実施された授業は，国語・社会・数学・理科・英語・家庭の6教科です。各先生が専門性を生かして授業を行い，



中学生は多少緊張しながらも高校での授業の一端を経験しました。実験や実技を伴う授業も実施され，目を輝かせながら取り組む姿が印象的でした。最後に希望者による部活動体験と施設見学が行われました。運動部と文化部を合わせ11の部活動に84名が参加しました。中学にはない部活動もあり，参加した中学生は担当の先生や本校の生徒達と交流を深めました。

「百聞は一見に如かず」ということわざがあります。今回の体験学習を通して，日頃中学校の先生や先輩から聞いている本校の様子と異なる側面を一人一人が肌で感じ取り，今後の進路決定の参考にしてもらえることを願っています。



■市議会傍聴 9月5日(月)

昨年に引き続き，3年生の地歴公民科の授業の一環で高萩市議会を傍聴しました。国政選挙及び地方選挙に投票できる年齢が18歳以上に引き下げられる中，高校生は未来の有権者であり社会を築いていく主人公となります。地域の有権者が選んだ議員の方々が，活発に議論する場面を目にすることで，自分たちの課題を話し合っ解決する習慣の素地を作ることが狙いです。

この日行われたのは市議会定例会の本会議一般質問。初めての議場の雰囲気緊張しつつも，議員からの質問と市長からの答弁に真剣に耳を傾けました。給付型奨学金の創設や，製紙工場跡地利用の問題など，生徒達にも身近な議題が取り上げられ，生徒達は真剣な表情で審議を見守っていました。後日この様子は，「議員の論戦体感」という見出しで茨城新聞に大きく取り上げられました。

校内でも，後期生徒会役員選挙を従来の方法と異なる方法で実施しました。これまでは，立ち会い演説会の後，教室で一斉に投票をしていましたが，今回は1週間の間に会議室に設置された投票箱に投票用紙を入れる形式にしました。実際に投票権を得て選挙に行く場合は，期日前投票ができることを想定して実施したものです。今回の投票率は100%でした。



